



Press Release

2008年12月18日

PRCA09-02

アジレント・テクノロジーが、 2009年度のライフサイエンス・化学分析事業戦略を発表

「ライフサイエンス事業の強化」、
「販売チャネルの拡充」、「新組織『営業支援センター』の立ち上げ」

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：海老原 稔、本社：東京都八王子市高倉町9番1号）は、2009年度のライフサイエンス・化学分析事業の戦略として、「ライフサイエンス事業の強化」、「販売チャネルの拡充」、「新組織『営業支援センター』の立ち上げ」を行うことを発表します。

ライフサイエンス事業の強化

日本のライフサイエンス市場は2001年には1兆3000億円でしたが2010年には25兆円に拡大し、その時点での世界市場は約230兆円に達することが見込まれています（文部科学省「科学技術基本計画」より）。ライフサイエンスの研究においては、「サンプル採集」、「サンプル前処理」、「サンプルラベリング」、「分離・精製」、「検出」、「レポートニング・データ解析・データ管理」など、さまざまな作業が必要となります。当社では、このライフサイエンス研究におけるワークフロー全体に対応できるソリューションを提供し、バイオフーマ(*1)を含む製薬および大学・官庁に対するワークフローソリューションのパートナーとしての地位を確立することを目指します。

当社では、従来、ライフサイエンス研究のワークフローにおいて、「分離・精製」に必要なカラム、「検出」に向けた質量分析計、液体クロマトグラフ(LC)、ガスクロマトグラフ(GC)、キャピラリー電気泳動(CE)、バイオアナライザ、スキャナ、および「データ管理」向けソフトウェア「OpenLAB」を提供してきました。「サンプルラベリング」に向けたソリューションを提供するため、2007年にバイオ試薬メーカーのStratagene（米国カリフォルニア州）を買収しています。また、「サンプル前処理」に向けたソリューションを提供すべく、2007年12月にラボオートメーションロボットメーカーのVelocity 11（米国カリフォルニア州）を買収しました。さらに、「レポートニング・データ解析・データ管

理」に向けたソリューションを提供すべく、2007年にはKleeグループのKakabie Electronic Laboratory Notebook(フランス)を買収しています。今後は買収した各社のソリューションと、従来から当社が提供してきたソリューションをうまく組み合わせ、科学者の皆様の問題解決につながる最適なソリューションを提供していきます。

また、従来から提供しているライフサイエンス関連製品も強化していきます。ゲノミクスのお客様のニーズに対応すべく、従来の4倍の密度のプローブを搭載したマイクロアレイ「G3 1M マイクロアレイ」を市場に投入します。これにより、一段と高い分解能でのCGH実験やCNV解析が可能になるとともに、将来1スライドガラス上に搭載するマイクロアレイをさらに増やした遺伝子発現アレイが可能になります。ランニングコストの低減とスループットの向上を実現できます。さらに、急速に拡大する次世代シーケンサのお客様向けに、より効率的なシーケンシングを可能にする「SureSelect™ Sequence Capture」を提供します。これにより、次世代シーケンシング解析のボトルネックとなっている多検体処理のランニングコストを大幅に下げることができます。

販売チャネルの拡充

当社では、主に化学分析機器の販売チャネルとして9社の旧代理店を、製薬業界およびバイオビジネスに対しては直販営業を中心に販売してきました。このたび、ライフサイエンス市場に向け、装置、消耗品、試薬、マイクロアレイなどを扱う販売店十数社との契約を目指します。従来の化学分析機器の販売店を「アナリティカル会」、新たなライフサイエンス分野の販売店を「ライフサイエンス会」と呼び、新体制を2009年1月から発足させます。アナリティカル会、ライフサイエンス会のパートナー各社とは、新しいテクノロジー、LC/MS、トリプル四重極GC/MS（ガスクロマトグラフ／質量分析装置）などの販売促進活動を共同で実施していきます。

また、アナリティカル会、ライフサイエンス会とは別に、試薬やマイクロアレイのみを扱う販売店約50社とも販売店契約を締結する予定です。

新組織『営業支援センター』の立ち上げ

ライフサイエンス系の販売店強化により、顧客層が大幅に広がることを見込まれることから、お客様ならびに新たな販売店（ライフサイエンス会）からの問い合わせに迅速に対応する組織として、「営業支援センター」を設置、2009年1月より本格稼働します。この組織は、既存のオンライン技術担当のほか、新たに組織した内勤営業、フィールドサポート（見積もり作成などの営業事務）、トレーニング企画などの機能を統合した約20名の組織です。

お客様には外勤営業担当のほか、内勤の営業担当がつくこととなり、従来以上にきめ細かい対応ができるようになります。また、外勤営業担当は、お客様の要求の把握や、問題解決策の提案に注力することができるようになります。これにより、お客様とのコミュニケーションを強化し、お客様満足度の向上を目指します。

#

お客様からのお問い合わせ先（記事掲載時の連絡先もこれでお願ひします）：

カスタマコンタクトセンター

電話：0120-477-111

この発表に関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

企画・広報部 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー（NYSE:A）は、コミュニケーション、エレクトロニクス、ライフサイエンス、化学分析市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。20,000名の従業員を擁し、110カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2008年度、58億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

参考：アジレントの化学分析製品

化学分析機器においては、2008 年度に発表した「Agilent 7000A トリプル四重極 GC/MS」に引き続き、2009 年度にも GC、LC、質量分析計の新製品やその関連製品を続々と発表する予定です。これらの販売については、当社のラボ、アプリケーションエンジニアおよびプロダクトスペシャリストの充実とともに、アナリティカル会のラボやエンジニアとともに、きめ細かなアプリケーションサポートを提供していきます。

とりわけ、LC においては、高速・高分離・高感度というお客様のニーズに対応すべく、「Agilent 1200 シリーズ Rapid Resolution LC」(RRLC、最高の分析速度および分離能を両立した LC) と、クレジットカード大のチップ型 LC「HPLC-Chip」を最上位モデルと位置づけています。また、シンプルで誰でも使える LC というというコンセプトの「Agilent 1120 シリーズ Compact LC」を 2006 年から提供しています。

質量分析計は、LC/MS、GE/MS、GC/MS、ICP-MS を取り揃え、定性分析から定量分析、そして無機分析から有機化合物分析まで対応しています。LC/MS についてはシングル四重極、トリプル四重極、飛行時間型 (TOF)、四重極飛行時間型 (QTOF)、イオントラップの 5 つのプラットフォームとなりました。低分子から高分子まで、定性分析から微量定量までに対応しています。

***1 バイオフィーマ (バイオ製薬)：**抗体医薬、核酸医薬、再生医薬、ワクチンなどのバイオ医薬品の研究開発・製造のこと。新規化合物 (NCE) を合成する従来の製薬と対比して「バイオフィーマ (バイオ製薬)」と呼ぶ。